事業年報 Vol.54　令和6年度報告

Ⅵ～Ⅹ　各種報告

Ⅵ　健康支援

Ⅶ　環境調査

Ⅷ　精密検査外来

Ⅸ　画像検査オーダーシステム

Ⅹ　事業報告

健康支援

健診機関が行う健康支援事業は、予防医学において重要な位置づけにある。当協会では保健師、管理栄養士、理学療法士、健康運動指導士、公認心理師ら専門スタッフがその役割を担い、一人ひとりの健康づくりをサポートしている。特定保健指導は第4期になり、早期実施が求められるようになった。Big Waffle 施設内健診では血液検査結果を含めた当日一括指導の体制を整備したことで、特定保健指導の実績増加につながった。また、市町村・事業所・学校などで健康支援に携わっている方を対象とした講習会やセミナーの開催、健康げんき倶楽部・ヘルシーレストラン食楽良の利用者に向けた啓発活動など、一次予防を目的としたサービスを行っている。

1．健診の事後措置

■集団健診の対応

各団体が主催する事後指導会で、健診の結果説明を行っている。令和6年度の事後指導実施団体は、4市町村、61事業所、4学校の計69団体であった。市町村では22回実施し、主に保健師と管理栄養士が対応した。事業所では141回実施し、保健師、公認心理師が対応した。学校では4回実施し、保健師、管理栄養士が対応した（表1）。総実施回数は168回（前年度比105.0％）で、前年度を上回った。

表１　集団健診の事後指導実施状況

団　体	団体数	回数	派遣スタッフ			
			保健師	管理栄養士	健康運動指導士	公認心理師
計	69	168	49	4	0	115
市町村	4	22	20	2	0	0
事業所	61	141	26	0	0	115
学　校	4	5	3	2	0	0

■個別の指導・相談

人間ドックにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。令和6年度の実施数は保健指導1,141人、栄養指導440人であった。専門ドックでは個別相談を14人実施した（表2）。また、労災保険二次健康診断対象者の442人に保健指導を実施した（表2）。総実施人数は2,037人（前年度比92.4％）で、前年度を下回った。

表２　個別の指導・相談実施状況

	内　容	人数
計		2,037
人　間　ド　ッ　ク	保健指導	1,141
	栄養指導	440
専　門　ド　ッ　ク	個別相談	14
労災保険二次健康診断	保健指導	442

２．講演会講師派遣

令和６年度の講師派遣は、73 団体 148 回（前年度比 76.3％）であった。

表１　団体内訳

団　体	団体数	回　数	主なテーマ
計	73	148	
市町村	1	22	コグニサイズ、介護予防教室
事業所	72	126	ストレスとセルフケア、快眠で充実した生活を
学　校	0	0	

表２　職種別内訳　148 回

職　種	地域部門	産業部門	学校部門
計	22	126	0
医師	0	0	0
保健師	1	46	0
管理栄養士	2	3	0
理学療法士	10	0	0
健康運動指導士	9	26	0
公認心理師	0	24	0
労働衛生コンサルタント	0	0	0
その他	0	27	0

３．定期健康相談事業

■事業内容

団体から年間契約で委託を受け、健康管理や健康支援を定期的に実施している。

事業所に対し、健康診断の事後措置、職員の健康管理、健康セミナー、健康相談を実施した。また、職場巡視、衛生委員会出席などを、産業医・事業主・衛生管理者等と連携をとり実施した。

■実施状況

令和６年度の委託事業所は５団体、114 回（前年度比 82.0％）実施した。専門スタッフの派遣は、保健師 114 回であった。

４．相談員派遣

令和６年度、岩手産業保健総合支援センターの産業保健相談業務として 12 回派遣した。

５．電話相談

当協会で実施している健康診断結果・検査等に関する相談や地域医療機関への情報提供等 723 件（前年度比 110.0％）の電話相談に対応した。

6. 特定保健指導

令和 6 年度の初回面接実施団体は、前年度より 3 団体増加し 35 団体であった。実施人数は、動機付け支援 2,357 人、積極的支援 2,077 人、合わせて 4,434 人であり、前年度から 898 人（前年度比 125.4%）増加した。

表 1　部門別内訳　人

区　分		初回面接実施人数	
		地域部門（10 団体）	産業部門（25 団体）
計	**4,434**	**402**	**4,032**
動機付け支援	2,357	336	2,021
積 極 的 支 援	2,077	66	2,011

7. 研修会等開催

健康教育研究会を開催した。詳細は『事業報告』「研修会等の開催」参照。

8. 健康げんき倶楽部（気楽良（きらら））

理学療法士・健康運動指導士・保健師・管理栄養士といった専門スタッフによるトータルヘルスサポートサービス。Big Waffle 施設内に設置されているトレーニングルーム・プールを月会費制で利用でき、現在の会員数は 214 人。それぞれの目的に応じたプログラムを提案し、体組成測定による成果確認を毎月実施する。また、会員は Big Waffle で実施している健康セミナーに無料で参加することができ、オプションでメディカルチェック（血液・内臓脂肪 CT）を受けることもできる。

9. 健康講座等の開催

当施設において、健康講座（ココロカラダヨロコブ講座）等を開催。

表 1　内訳

区　分	回数、団体数	人 数	主な内容
ココロカラダヨロコブ講座	11 回	78	運動、栄養、保健、メンタルヘルス
レストランを活用した食育活動	12 回	560	減塩レシピと試食品の提供 ワークショップ
介護予防「カラダづくり教室」	12 回	177	フレイル予防の運動、講話
エイジフレンドリー　腰痛予防	2 回	24	体力測定、腰痛予防の運動
エイジフレンドリー　転倒予防	2 回	19	体力測定、転倒予防の運動
施設見学	4 団体	50	食楽良日和、施設説明と見学 ミニ健康講座

10. メンタルヘルス

ストレスチェック後に医師による高ストレス者への面接、公認心理師による保健相談等を実施。令和 6 年度は医師面接 146 件、保健相談等 62 件だった。

11. ヘルシーレストラン食楽良（食楽良（くらら））

「食を楽しみ良い人生を」をコンセプトに食事の「バランス」「適量」「適塩」を体験できるレストラン。令和 6 年度のランチ、スイーツの提供数は 16,632 食だった。また、毎月 28 日の「いわて減塩、適塩の日」にあわせ、お客様を対象に管理栄養士監修の減塩レシピと試食の提供を行い、食育活動を行った。

Ⅵ 健康支援

環境調査

作業環境測定は有害物質の濃度や有害エネルギーなどの物理量を測定し作業環境評価を行うもので、環境改善のための工学的対策を講ずる重要な情報となる。種々の有害要因を減少させ、作業環境を適正に保ち、働く人々の健康障害を防止するための作業環境管理の基本となるものである。また、個々の労働者の有害物ばく露の管理手法として、個人サンプラーを労働者に装着して有害化学物質による個人ばく露濃度を推定する測定は、作業方法の改善や保護具管理の重要な情報となっている。公共の建築物や学校などにおける揮発性有機化合物等の測定や、ダニ又はダニアレルゲン検査，公衆浴場などのレジオネラ属菌検査は化学物質や細菌等により健康を害することがないように管理が求められている。

■実施状況

令和6年度の測定総件数は20,747件（前年度19,873件）で、前年度に対し104.4％と増加した（図1）。

作業環境測定（労働安全衛生法第65条によるもの又は準ずる測定）は延べ644事業場、延単位作業場所2,568箇所に実施し、測定件数は20,205件であった（表1）。作業環境測定であるが、評価基準による評価をしない測定(溶接ヒューム、局所排気装置検査など)をその他の項目としており、1,100件実施した（表1）。

作業環境測定以外の環境測定は、学校及び公共施設の室内空気環境中の揮発性有機化合物（VOC）の測定を中心に542件実施した。その内訳は、揮発性有機化合物（VOC）の測定が417件、ダニ又はダニアレルゲンの検査が79件、レジオネラ属菌検査が14件であった（表2）。

■検査成績

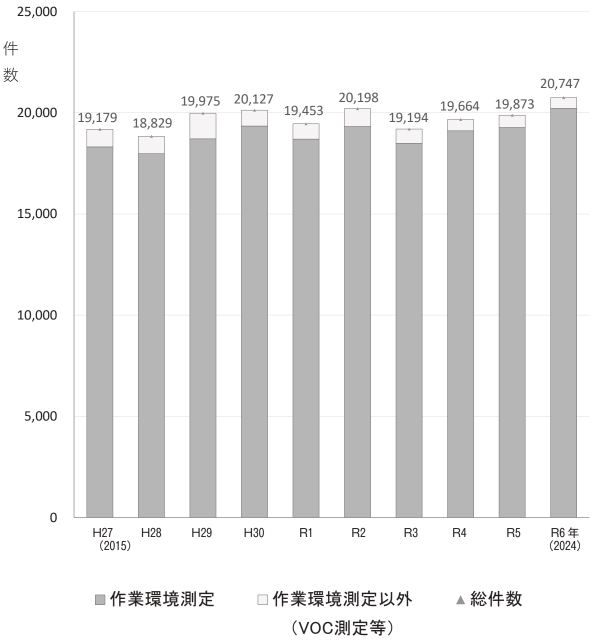
作業環境測定における延単位作業場所の管理区分内訳は、第1管理区分（作業環境管理が適切である）が全体の81.9％（前年度82.6％）、第2管理区分（作業環境管理になお改善の余地がある）が8.4％（前年度8.0％）、第3管理区分（作業環境管理が適切でなく速やかに改善措置の実施が必要）が9.7％（前年度9.4％）であった。

総合的にみると、第2・第3管理区分の割合がやや増加している。測定項目別では騒音が第2・第3管理区分の割合が最も高く、69.9％（前年度62.4％）と前年度を大きく上回った。

■作業環境測定における主な採取・分析方法

対象項目	採取方法	分析方法
有機溶剤	固体捕集法	ガスクロマトグラフ分析法
	検知管法	
粉じん	相対濃度指示法	
	ろ過捕集法	重量分析法
金属	ろ過捕集法	原子吸光光度法
	液体捕集法	
特定化学物質	ろ過捕集法	重量分析方法 高速液体クロマトグラフ分析法
	検知管法	
	液体捕集法	吸光光度法
	固体捕集法	ガスクロマトグラフ分析法
		高速液体クロマトグラフ分析法

図1　測定件数の年次推移



■管理区分と管理区分に応じた講ずべき措置

管理区分	作業場の状態	講ずべき措置
第１管理区分	当該単位作業場所のほとんど（95％以上）の場所で気中有害物質の濃度が管理濃度を超えない状態	現在の管理の継続的維持に努める
第２管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えない状態	施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずるよう努める
第３管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えている状態	①　施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずる ②　有効な呼吸用保護具の使用 ③　健康診断の実施その他労働者の健康の保持を図るため必要な措置を講ずる

表１　測定件数・項目別事業場数・単位作業場所数

（　）内は％

区分（測定項目）	測定件数 ＊1	測定実施事業場延数 ＊2	延単位作業場所数 ＊3	延単位作業場所の管理区分内訳（割合％）＊4					
				第１管理区分		第２管理区分		第３管理区分	
計	20,205	644	2,568	2,104	(81.9)	216	(8.4)	248	(9.7)
粉じん（石綿を除く）	4,863	182	523	372	(71.1)	54	(10.3)	97	(18.6)
特定化学物質＊5	4,422	316	679	607	(89.4)	37	(5.4)	33	(4.9)
石綿	0	0	0						
金属	1,390	58	221	207	(93.7)	6	(2.7)	8	(3.6)
有機溶剤	5,964	449	931	853	(91.6)	50	(5.4)	28	(3.0)
騒音	2,466	45	216	65	(30.1)	69	(31.9)	82	(38.0)
その他＊6	1,100	121							

＊1：作業環境測定の結果の評価等に用いた測定点総数
＊2：測定項目ごとの実施事業場延数（総数は１項目以上の実施事業場延数。但し、その他の項目を除く）
＊3：作業環境測定結果の評価を実施した延単位作業場所の項目ごとの場所数（単位作業場所：作業環境測定結果の及ぶ範囲）
＊4：各項目における管理区分ごとの単位作業場所数及び割合
＊5：管理濃度が設定されていない測定も含む
＊6：作業環境測定であるが、結果の評価を実施しなかった測定の総件数及び事業場延数（分析のみの測定を含む）

表２　作業環境測定以外の環境測定実績

名　称	根拠となる法令等	物質名等	測定件数
計			542
揮発性有機化合物（VOC）の室内空気環境測定	官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン，p-ジクロロベンゼン，テトラデカン	77
	学校環境衛生基準	ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，p-ジクロロベンゼン，エチルベンゼン，スチレン	340
ダニ又はダニアレルゲンの検査	学校環境衛生基準	ダニアレルゲン	79
レジオネラ属菌検査	公衆浴場法および同法施行条例，旅館業法および同法施行条例に基づく検査	浴槽水中のレジオネラ属菌	14
教室の換気，一酸化炭素の測定	学校衛生環境基準	二酸化炭素，一酸化炭素	16
温湿度の測定	学校衛生環境基準	温度，相対湿度	16

精密検査外来

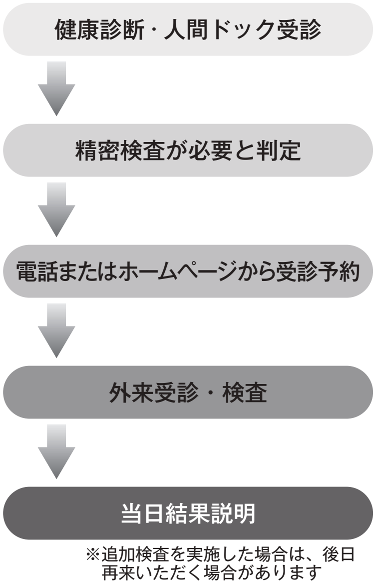
精密検査外来は、2014年（平成26年）に健診後のサポートを充実させる目的で開始した事業である。当協会の健康診断や人間ドックで精密検査が必要と判定された方を対象としている。完全予約制で待ち時間が少なく、保険適用で一度の受診で診察・検査・説明まで完了させる体制をとっているのが大きな特徴である。循環器内科、呼吸器内科、消化器内科の３つの診療科では、より高度な検査を実施し、治療が必要な方をより早く、より正確にトリアージして専門医療機関へ紹介している。

■実施状況

令和６年度の利用者数は前年度より21人増の3,338人（前年度比100.6％）であった。
診療科別に前年度比をみると、呼吸器内科は1,532人（109.9％）で前年度を上回ったが、循環器内科924人（95.7％）、消化器内科882人（92.2％）は前年度を下回った（表１）。

各診療科の利用状況（初診のみ）は、多い順に呼吸器内科45.0％、消化器内科39.5％、循環器内科15.5％であった。また、健診部門別では産業保健部門の利用者が68.8％と多かったことから、本外来の特徴である「一度の受診で完了する」ことが働く世代の精密検査受診率向上に役立っていると考えられる（表２、図３）。
「要精密検査」と判定された方々の精密検査受診率向上のために、本外来をさらに活用していただけるよう推進していきたい。

図１　外来受診までの流れ



■診療科と検査項目

診療科	C判定となった検査項目	精密検査外来で実施する検査
循環器内科	心電図検査	ホルター心電図検査
	心臓超音波検査	心臓超音波検査
	頸動脈超音波検査	頸動脈超音波検査
	血圧脈波検査	MRI検査
	胸部Ｘ線検査（循環器所見）	血液検査　など
	胸部CT検査（循環器所見）	
呼吸器内科	胸部Ｘ線検査（呼吸器所見）	胸部CT検査
	胸部CT検査（呼吸器所見）	胸部Ｘ線検査　など
	呼吸機能検査	
	アミノインデックス（肺がん）	
消化器内科	胃部Ｘ線検査	上部／下部内視鏡検査
	便潜血反応検査	大腸CT検査

表１　診療科別検査人数

	計	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科		
				上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡	大腸 CT
計	**3,338**	**924**	**1,532**	**882**		
				201	**438**	**243**
二次検査(初診)	1,959	304	881	774		
				172	410	192
経過観察	675	268	373	34		
				19	6	9
その他	704	352	278	74		
				10	22	42

表２　健診部門別検査人数（初診のみ）　　（　）内 %：各健診部門内の割合、　〈　〉内 %：各診療科内の割合

	計	循環器内科		呼吸器内科		消化器内科		上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡	大腸 CT
計	**1,959**	**304**	**(15.5)**	**881**	**(45.0)**	**774**	**(39.5)**	**172**	**410**	**192**
人間ドック	247 〈12.6〉	38 〈12.5〉	(15.4)	108 〈12.3〉	(43.7)	101 〈13.0〉	(40.9)	33	45	23
産業保健	1,348 〈68.8〉	263 〈86.5〉	(19.5)	461 〈52.3〉	(34.2)	624 〈80.6〉	(46.3)	137	335	152
地域保健	360 〈18.4〉	3 〈1.0〉	(0.8)	308 〈35.0〉	(140.0)	49 〈6.3〉	(13.6)	2	30	17
学校保健	4 〈0.2〉	0		4 〈0.5〉	(100.0)	0				

図２　令和６年度　各診療科の利用状況（初診）

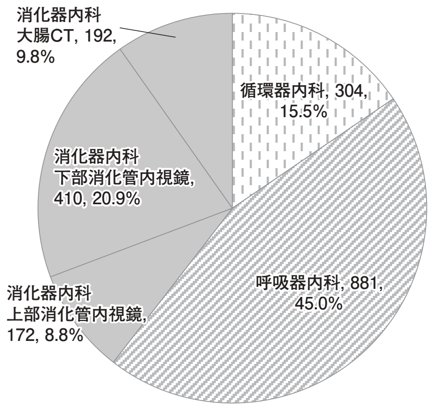


図３　令和６年度　各健診部門の利用状況（初診）

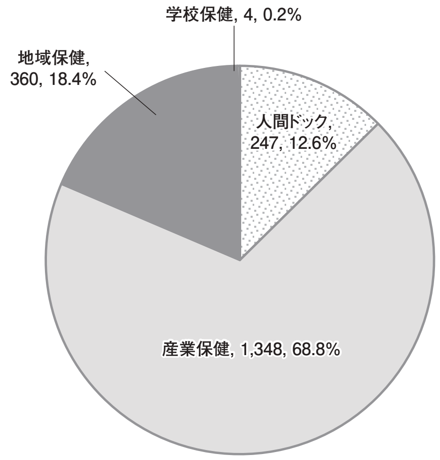
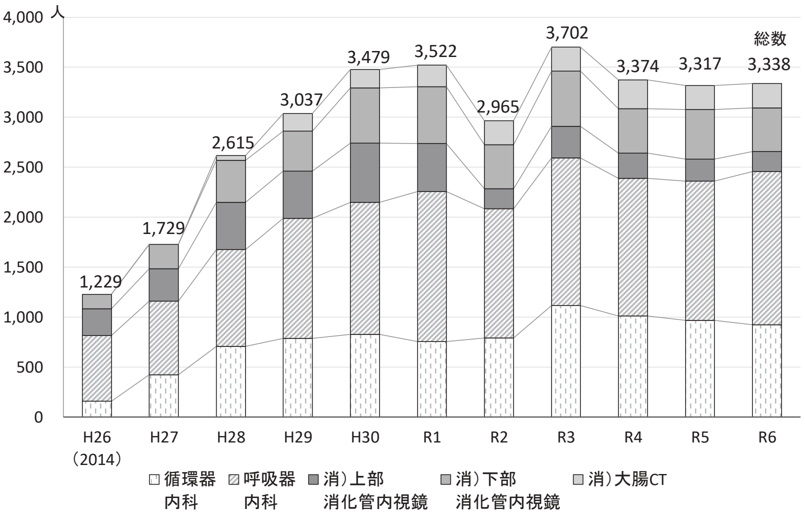


図４　利用状況の経年推移



画像検査オーダーシステム

近年の地域医療事情は、新しく高度な医療機器が整備され、専門医が在中する中核病院への患者集中が問題になっている。そこで、地域の医療機関が連携し、それぞれの特徴を活かし、地域全体がひとつの医療システムとなって最適な医療を提供する「地域医療連携」が提唱されている。当協会では2005（平成17）年より、人間ドックで使用しているＭＲＩ・ＣＴなどの高度医療機器を利用した画像検査受託事業を実施している。
当協会近郊の医療機関に活用していただくことで、「機器の稼働率確保」、「地域医療の質の向上」、「かかりつけ医での振り分けによる中核病院の負担軽減」など、当協会、地域の医療機関・中核病院、患者間で相互のメリットが生まれると考える。

■受託状況

令和6年度、受託医療機関数は34機関(BigWaffle：30、県南：4)であった。
受託件数は883件(前年度比119.0%)で、前年度より141件増加した。検査項目の内訳は、ＣＴ検査554件（全体の62.7%）、ＭＲＩ検査310件（同じく35.1%）、超音波検査15件（同じく1.7%）であった（表1）。

■特徴

この事業の特徴は以下の3点である。

1. 地域医療機関の第二の検査専門施設
   医療機関が、検体検査と同様に画像検査を当協会にオーダー、要望があれば読影し撮影画像と読影結果をお返しする。患者の検査料請求は通常診療の中で医療機関が行う。
2. 検査料金を保険診療点数以下に設定
   当協会から医療機関へ請求する検査料は、保険診療点数より低く設定している。
3. 患者の送迎
   要望があれば、当協会と医療機関との送迎を無料で実施する。

図1　画像検査受託事業の流れ

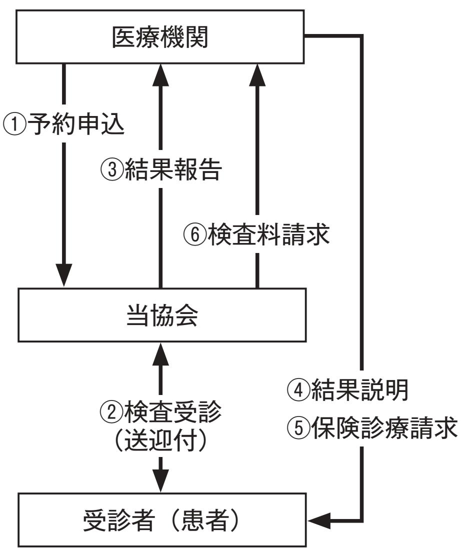


表1　検査項目別受託件数

	計	CT	MRI	乳房X線	超音波
計	883	554	310	4	15
BigWaffle	842	514	310	4	14
県南センター	41	40	－	0	1

事業報告

Ⅰ．事業報告（公益目的事業1：健康診断・健康増進事業）

1．学術委員会の開催

（1）専門委員会

①呼吸器系検診専門委員会	令和7年3月17日
②消化器系検診専門委員会	開催なし
③生活習慣病健診等専門委員会	開催なし
④小児および学校保健専門委員会	開催なし
⑤ウイルス肝炎専門委員会	令和6年11月14日

（2）専門部会

①胸部読影専門部会	令和7年3月17日
②胃部読影専門部会	令和7年3月29日
③循環器検査専門部会	令和6年11月27日
④眼底検査専門部会	開催なし
⑤脳ドック専門部会	令和6年12月12日
⑥乳がん検診専門部会	令和7年3月5日
⑦学校心臓検診専門部会	令和7年3月3日
⑧脊柱側弯検診専門部会	開催なし
⑨小児生活習慣病健診等専門部会	開催なし

2．関係機関担当者会議の開催

（1）学校保健関係

①『令和6年度学校保健連絡会議』

令和6年12月23日～令和7年1月17日【Web開催】

ア．情報提供

「中学生ピロリ菌検査の実施について」

講師：一関市 健康こども部 健康づくり課 健診指導係　検診担当者

イ．事業報告

・令和5年度健診・検査実施状況

ウ．報告事項

・令和6年度健診・検査申込状況
・令和7年度事業計画・学校保健事業計画骨子（案）
・令和7年度変更事項

（2）地域保健関係

①『令和6年度保健活動連絡会議』

令和7年2月18日　盛岡市　アートホテル盛岡　61人

ア．講演

「行動理論を特定保健指導に　～楽しくなる保健指導をめざして～」

講師：神戸大学大学院　人間発達環境学研究科　教授　加藤佳子氏

イ．報告事項

・令和5年度健診・検査実施状況
・令和5年度住民健診有所見率
・令和6年度健診・検査実施状況
・令和7年度地域保健事業計画骨子
・令和7年度変更事項

(3) 産業保健関係

①『第13回産業保健「健康支援セミナー」』

令和7年2月27日　盛岡市　アートホテル盛岡　48人

ア．講演

「サルコペニア」「デメンチア」「フレイル」『コグニサイズ』で立ち向かおう！

講師：公益財団法人岩手県予防医学協会　産業保健支援部長　立　身　政　信

イ．情報提供

「令和7年度に向けての行政動向」

講師：岩手労働局　労働基準部　健康安全課　課長　澁　磯　寿　氏

ウ．報告事項

・大腸がん検診について

・子宮頸がん検診について

・乳がん検診について

・腹部超音波検査について

3. 研究会・講習会・健康講座等の開催

(1) 第39回健康教育研究会の開催

令和6年9月2日～9月30日【Web開催】318人

心のトリセツ～心理的安全性を確保する対話術～

講師：株式会社感性リサーチ　代表取締役　黒　川　伊保子　氏

(2) 学術講演会

学術講演会の開催なし

(3) 健康講座・健康教室等の開催

①レストラン食楽良　減塩・適塩体験の日	12回	延べ560人
②ヨロコブ講座	11回	延べ78人
③介護予防「カラダづくり教室」	12回	延べ177人
④エイジフレンドリー　腰痛予防	2回	延べ23人
⑤エイジフレンドリー　転倒予防	2回	延べ19人

4. 職員研修

(1) 内部研修会の実施

①交通安全講習会（新入職員、新採用アシスタント職員等）	52人参加
②安全運転講習会	695人参加
③防災訓練（年2回）（防災教育及び避難訓練）	1,080人参加
④職員全体研修会	536人参加
⑤職員研究発表会・業務報告会（23題）	120人参加
合　計	2,483人参加

(2) 外部研修会への参加

主催別内訳

①公益財団法人予防医学事業中央会関係研修会	13回	36人参加
②公益財団法人結核予防会関係研修会	6回	11人参加
③公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係研修会	24回	50人参加
④公益社団法人日本作業環境測定協会関係研修会	7回	7人参加
⑤その他	188回	294人参加
合　計	238回	398人参加

職種別内訳

①医師関係	48回	65人参加
②保健師関係	16回	21人参加
③臨床検査技師関係	37回	63人参加
④放射線技師関係	18回	26人参加

⑤作業環境測定士関係	13 回	13 人参加
⑥看護師関係	26 回	30 人参加
⑦栄養士関係	2 回	2 人参加
⑧運動指導士関係	4 回	4 人参加
⑨臨床心理士関係	0 回	0 人参加
⑩事務関係	91 回	174 人参加
合　　計	255 回	398 人参加

5. 研究発表等

(1) 心電学関連春季大会 2024（大分県）
令和 6 年 4 月 20 日（土）
「一般住民健診から評価した新規心房細動発症の心電図指標」　小　松　　隆

(2) 第 63 回日本消化器がん検診学会総会（愛知県）
令和 6 年 6 月 7 日（金）
「大腸 CT 検査にてカテゴリー C0 となった症例についての検討」　久保田　憲　宏

(3) 第 67 回日本腎臓学会学術集会（神奈川県）
令和 6 年 6 月 28 日（金）
「本邦の心房細動合併における新規慢性腎臓病の臨床像」　小　松　　隆

(4) 第 70 回日本不整脈心電学会学術集会（石川県）
令和 6 年 7 月 18 日（木）
「Comparison of mid-term outcome between pulmonary vein isolation using radiofrequency catheter and 2nd generation cryoballoon in atrial fibrillation patients with a common pulmonary vein」　小　松　　隆

(5) 第 72 回日本心臓病学会学術集会（宮城県）
令和 6 年 9 月 29 日（日）
「発作性・持続性心房細動例における施行時期別クライオバルーンアブレーションの有効性ならびに安全性」　小　松　　隆

(6) 第 28 回日本心不全学会学術集会（埼玉県）
令和 6 年 10 月 6 日（日）
「心機能が保たれた心房細動例における心不全発症の新たなリスクスコア提唱」　小　松　　隆

(7) 第 45 回日本作業環境測定協会学術大会（福岡県）
令和 6 年 10 月 17 日（木）
「製靴工場における改善事例と化学物質の自律的な管理に向けた今後の課題」　小笠原　雄　太

(8) 第 23 回岩手県診療放射線技師会学術大会（岩手県）
令和 6 年 11 月 24 日（日）
「鎮痙剤が大腸 CT 検査の腸管拡張に与える影響の検討」　小野寺　　健

(9) 第 58 回全国予防医学技術研究会（京都府）
令和 7 年 2 月 20 日（木）、21 日（金）
①「ストレスチェック後の医師面接実施についての報告」　乙茂内　美以子
②「脊柱側弯検診読影レポートシステムの導入について」　萩生田　香　織
③「子宮頸がん検診における従来法と液状化細胞診（LBC 法）の比較検討」　吉　田　桂　子
④「Fib-4 index の有効性の検証」　赤　平　　暉
⑤「血圧脈波検査 ABI と動脈硬化危険因子の検討」　畠　山　瑞　生
⑥「当施設のマンモグラフィ、超音波検査併用乳がん検診の現状」　秋　田　早　由
⑦「高濃度乳房について考える　－乳房厚と乳房構成より－」　髙　橋　佐　季
⑧「胸部 CT 検査の撮像範囲の検討」　三　上　清　佳

(10) 日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会（宮城県）
令和 7 年 3 月 1 日（土）
「健診で発見された腎細胞がん膵転移の 1 例」　加　藤　祐　美

(11) 第 89 回日本循環器学会学術集会（神奈川県）

令和７年３月28日（金）～30日（日）
①「The 21st century trends in chronic kidney disease prevalence and well-established risk factors in the community.」 小 松 隆
②「Electrocardiographic parameters and the risk of new-onset atrial fibrillation in Japanese general population. 」 小 松 隆
③「Outcome between pulmonary vein isolation using radiofrequency catheter and 2nd-generation cryoballoon in atrial fibrillation patients with common pulmonary veins. 」 小 松 隆
④「Clinical characteristics of atherosclerosis based on cardio-ankle vascular index in Japanese general populations.」 小 松 隆
⑤「The 21st century trends on well-established risk factors in general populations with atrial fibrillation compared to those with sinus rhythm」 小 松 隆
⑥「The prevalence of premature ventricular contractions significantly increased after the COVID-19 pandemic in elderly people.」 田 巻 健 治

（12）「予防医学ジャーナル　第539号」への投稿（予防医学事業中央会発行）
①「特定保健指導第４期に向けたアウトカム評価の検討」 高 橋 るり子
②「心房細動新規発症と心電図所見についての検討」 引 木 珠 美
③「胃部Ｘ線検査で発見された胃がん症例の画像評価」 田 村 惇

（13）Mayo Clin Proc.（投稿）
「Socioeconomic Status and Diabetes Prevalence in the Japanese : Insights From the JPHC-　NEXT Study.」 坂 田 清 美

（14）J Epidemiol Community Health.（投稿）
「Association between the number of social roles and self-rated health : mediation effect by ikigai and the size of close social networks. J Epidemiol Community Health.」 坂 田 清 美

（15）BMJ Public Health.（投稿）
「Association between changes in walking time and all-cause mortality among survivors of the Great East Japan Earthquake : the Research Project for Prospective Investigation of Health Problems Among Survivors of the Great East Japan Earthquake and Tsunami Disaster（RIAS） study.」 坂 田 清 美

（16）Inquiry.（投稿）
「Sex- and Age-Specific Associations Between Metabolic Syndrome and Future Functional Disability in the Japanese Older Population.」 坂 田 清 美

（17）Neurology.（投稿）
「Research Committee of Neuroimmunological Diseases in Japan. Prevalence of, and Disability Due to, Multiple Sclerosis and Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder in Japan by the Fifth Nation-wide Survey.」 坂 田 清 美

（18）Biomarkers.（投稿）
「High circulating microRNA-197 levels are associated with an increased risk of incident stroke among elderly survivors of the Great East Japan Earthquake.」 坂 田 清 美

（19）Geriatr Gerontol Int.（投稿）
「Changes in physical activity during the year after the Great East Japan Earthquake and future frailty in older survivors.」 坂 田 清 美

（20）J Epidemiol.（投稿）
「Associations Between Lifestyle Factors and Constipation Among Survivors After the Great East Japan Earthquake : A 9-year Follow-up Study.」 坂 田 清 美

6. 広報活動

（1）機関誌の発行『健康いわて』（第330号～第333号） 季刊4,000部

(2) 事業年報 第53号 令和5年度報告　PDFデータ発刊
(3) ホームページの更新
(4) テレビＣＭの放映（毎週）

7. 予防医学事業中央会にかかわる事業

(1) 各種会議・研修会への参加

①令和6年度定時評議員会（東京都）	令和6年6月21日	1人
②令和6年度第1回企画委員会（東京都）	令和6年7月18日	1人
③令和6年度第1回全国運営会議（東京都）	令和6年7月18日	3人
④第41回全国情報統計研修会（広島県）	令和6年8月22～23日	4人
⑤令和6年度予防医学事業推進東北ブロック会議（仙台市）	令和6年10月25日	5人
⑥令和6年度第2回企画委員会（長崎市）	令和6年11月21日	1人
⑦令和6年度第2回全国運営会議（長崎市）	令和6年11月21日	1人
⑧第69回予防医学事業推進全国大会（長崎市）	令和6年11月22日	3人
⑨第58回全国予防医学技術運営会議（京都府）	令和7年2月19日	1人
⑩第58回全国予防医学技術研究会（京都府）	令和7年2月20～21日	9人
⑪令和6年度全国業務研修会（福井市）	令和7年2月27～28日	5人
⑫令和6年度保健指導研修会（東京都）	令和7年3月5～6日	1人

8. 結核予防会にかかわる事業

(1) 結核予防会支部の業務の実施
①検診事業
②複十字シール運動の展開（結核対策事業資金の造成）
ＮＰＯ法人岩手県地域婦人団体協議会と共同で運動を実施
運動期間　令和5年8月1日～12月31日まで

実績	令和6年度	（令和5年度）
大型シール	221枚	(355枚)
小型シール	4,952枚	(5,581枚)
募金総額	1,015,084円	(1,322,347円)
交付金収入	471,922円	(576,726円)
募金総額の内、岩手県地域婦人団体協議会の実績	345,500円	(400,000円)

③普及啓発、広報活動
ア. 岩手県知事表敬訪問（盛岡市）　令和6年8月7日　4人
イ. 令和6年度結核予防啓発キャンペーン
・結核・呼吸器感染症予防週間に合わせ、施設内に普及啓発用ポスターを掲示
・同期間に自施設を含む県内4箇所のライトアップを実施
ウ. ポスター・チラシ等の配布
・市町村、教育委員会、保健所、県立病院、公共施設など
エ. 広報誌の配布
『複十字』(№416～421)
（公益財団法人結核予防会発行）　隔月400部
『健康の輪』
（全国結核予防婦人団体連絡協議会発行）　年3回110部

(2) 各種会議、研修会への参加

①複十字シール運動担当者会議【Web開催】	令和6年9月5日	2人
②第76回結核予防全国大会第1回運営委員会	令和6年9月6日	6人
③結核・呼吸器感染症予防週間発足記念シンポジウム	【Web開催】令和6年9月30日	1人
④令和6年度結核予防東北・北海道ブロック会議（仙台市）	令和6年10月17日	5人

⑤胸部画像精度管理研究会（東京都）　令和6年12月12日　1人
⑥第76回結核予防全国大会第2回運営委員会【Web開催】　令和6年12月13日　6人
⑦診療放射線技師研究会【Web開催】　令和7年3月12日　1人
⑧全国支部事務局長研修会・事務連絡会議（東京都）　令和7年3月26日　1人
⑨第76回結核予防全国大会第3回運営委員会【書面開催】　令和7年3月28日

(3) 結核予防全国大会の開催

『第76回結核予防全国大会』　令和7年2月5日　盛岡グランドホテル　250人

[大会テーマ]「雨ニモ負ケズ 結核ニモ負ケズ －結核根絶に向けて－」
[主催] 岩手県、公益財団法人結核予防会、公益財団法人岩手県予防医学協会
[共催] 厚生労働省
[特別後援] 盛岡市
結核予防会総裁秋篠宮皇嗣妃殿下ご臨席の下、下記内容で開催

①結核予防会全国支部長会議
[議長] 公益財団法人岩手県予防医学協会　専務理事　武内健一
[講演] 厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課　課長　荒木裕人
富士フイルム株式会社メディカルシステム事業部モダリティーソリューション部
マネージャー　中島智明・マネージャー　大塚琢磨
公益財団法人結核予防会　副理事長　前田秀雄

②研鑽集会
[テーマ]「高齢者・超高齢者および外国人の結核対策 -in Ihatov-」
[基調講演]「結核対策の動向～世界と日本～」
[演者] 公益財団法人結核予防会結核研究所　所長　加藤誠也
[基調講演座長] 公益財団法人岩手県予防医学協会　専務理事　武内健一
[シンポジスト] 岩手県宮古保健所　所長　杉江琢美
公益財団法人岩手県予防医学協会　専務理事　武内健一
盛岡市保健所指導予防課感染症対策担当　保健師　吉田有希
[シンポジウム座長] 岩手県県央保健所　所長　仲本光一
公益財団法人結核予防会結核研究所　副所長　慶長直人
[特別発言] 厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課　課長　荒木裕人

③大会式典
・開会あいさつ　公益財団法人結核予防会　理事長　尾身茂
・大会運営委員長あいさつ　岩手県知事　達増拓也
・結核予防会総裁おことば
・第28回秩父宮妃記念結核予防功労賞受賞者表彰
・来賓祝辞
厚生労働大臣　福岡資磨
公益社団法人日本医師会　会長　松本吉郎
公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会　会長　木下幸子
・議事
[議長] 公益財団法人岩手県予防医学協会　常務理事　鈴木和彦
[副議長] 公益財団法人結核予防会　副理事長　前田秀雄

④結核コーヒーブレイクセミナー
[演題]「東北一純農村の結核対策の夜明け～昭和初期の岩手県志和村の闘い～」
[演者] 公益財団法人結核予防会結核研究所　名誉所長　森亨
[座長] 公益財団法人岩手県予防医学協会　専務理事　武内健一

⑤おもてなしレセプション in Ihatov

9. 調査・研究事業

(1) 岩手県北地域コホート研究
(2) 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業
乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究

(3) 日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究開発事業
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究
(4) 追跡調査
(5) 経時的データの有効活用
(6) 東北メディカル・メガバンク事業　地域住民リスク回付コホート調査

10. 令和6年度岩手県へき地指定校実施内容

	心臓検診	貧血検査	生活習慣病予防健診	脊柱側弯検診	尿検査	ピロリ菌検査
へき地指定小学校（全44校）	511	224	200	237	1926	0
へき地指定中学校（全22校）	298	730	185	175	889	0
合　　計	809	954	385	412	2,815	0

Ⅱ．事業報告（公益目的事業２：幼老統合事業）

1．運営状況

（1）保育園

①園児数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	6	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
1歳	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3歳	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4歳	13	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5歳	14	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
計	70	66	66	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69

②保育時間

月～土曜日　　7：00～18：00（延長保育　18：00～19：00）

休み：日曜日・祝祭日、年末年始 12/29～1/3

（2）児童クラブ

①児童数　※対象：飯岡小学校、向中野小学校、本宮小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21
2年生	31	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
3年生	21	21	20	20	20	20	20	19	19	19	19	18
4年生	22	21	20	20	20	18	18	18	18	18	18	17
5年生	12	12	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10
6年生	10	10	10	10	10	9	9	9	8	8	8	8
計	118	116	112	112	112	108	108	106	105	105	105	103

②保育時間

月～金曜日　13：00～18：00（延長保育　18：00～20：00）

土曜日　　　　8：00～18：00

長期休暇　　　7：30～18：00（延長保育　18：00～19：30）

休み：日曜日・祝祭日、お盆 8/13～16、年末年始 12/29～1/3

（3）デイサービス（地域密着型通所介護事業）

①利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	12	13	15	16	17	15	15	14	13	13	14	14
延べ人数	83	87	87	107	86	94	104	98	90	84	97	102

②利用時間

月～金曜日　　9：00～16：00

休み：土曜日・日曜日・祝祭日、お盆 8/13～16、年末年始 12/29～1/3

2. 運営等に関する委員会等の開催（法定設置）

(1) 保育園運営委員会　令和6年度開催せず
(2) 令和6年度第1回介護事業運営推進会議　令和6年9月26日
(3) 令和6年度第2回介護事業運営推進会議　令和7年2月26日
(4) 令和6年度第1回感染症予防対策委員会（介護係）　令和6年10月22日
(5) 令和6年度第2回感染症予防対策委員会（介護係）　令和7年2月20日
(6) 令和6年度第1回高齢者虐待防止対策委員会（介護係）　令和6年10月22日
(7) 令和6年度第2回高齢者虐待防止対策委員会（介護係）　令和7年2月20日

3. 幼老統合施設保育園入園式・進級式・卒園式の実施

(1) 保育園進級式　令和6年4月1日
(2) 保育園入園式　令和6年4月6日
(3) 保育園卒園式　令和7年3月22日

4. 幼老統合施設各種行事・公開行事の実施

(1) 保育園運動会「ふれあいランド岩手」にて開催（3歳以上児）　令和6年9月21日
(2) 保育園発表会　クラスごとに開催　令和6年12月13日

5. 保育所（園）長会議への参加　11回

6. 保育所運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加　64回　69人

7. 児童クラブ運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加　7回　7人

8. デイサービス運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加　6回　6人

9. 異世代間交流、地域交流の実施

(1) 保育園、デイサービス、児童クラブが日常的な相互交流を実施
※感染症に配慮しながらも、自発的で自然な交流を目指して環境づくりを行い、係間で連携を取り合うことで、交流の機会がさらに増え主体的に関わることができた。
(2) 季節のイベントを3部門合同で行い「食育」「運動」「交流」をテーマとした「幼児と高齢者とのコミュニケーション」を実施
※梅シロップ作り、マラソン大会、夏祭りなど、食育や運動の活動を通して、高齢者と幼児、高齢者と児童、幼児と児童など相互に関わる世代間交流を実践することができた。
(3) 近隣の学校・自治会等との交流会の実施
※峰南高等支援学校と幼児との交流会で学校を訪問しゲームや触れ合いを行い、飯岡小学校へ年長児が訪問し学校見学を行った。近隣自治会をマラソン大会の応援や園児の発表会、敬老会の来客として招待し、ハロウインでの交流も行った。また、Cocoa農園にて収穫したさつまいもで焼き芋会を開催し地域の方を招待し交流を行うことができた。

10. 普及啓発・広報活動

(1) 健康診断・健康増進事業が発行する機関誌「健康いわて」に『Cocoa通信』と『みんなでCocoa運動』を毎号掲載し、施設や活動内容についての情報を発信。地元自治会にも配布した。
(2) Cocoa独自のホームページを作成し、幼老交流活動の内容等を随時更新することで、施設についての情報を発信。
(3) Cocoa（デイサービス）の紹介パンフレットを作成し、近隣3つの自治会に配布した。

11. 職員研修

Ⅰ. 事業報告（公益目的事業1：健康診断・健康増進事業）「5. 職員研修」と同じ

12. 調査・研究事業

先進地視察：千葉県佐倉市と神奈川県相模原市の幼老複合施設を視察し、当施設との比較検証を行った。

13. 研究発表

第46回研究発表・業務報告会にて発表
幼老統合施設Cocoa開設10年目の歩みと展望
～幼老統合施設の取り組みに対する検証～　保育士　髙　橋　　智

14. 児童福祉施設の運営に係る指導監査（児童福祉法施行令第38条の規定に基づく）

実 施 日：令和6年8月1日
実 施 者：盛岡市保健福祉部地域福祉課
対象施設：Cocoa（保育園）
実施目的：保育所を運営するに当たり、関係法令が遵守されているか
監査結果：特に是正改善を求める事項はなし

15. 介護保険施設等の実地指導：令和6年度該当なし

16. 施設見学

保育園見学者　1回　6人

Ⅲ．法人の運営に関する事業

1．評議員会、理事会、定期監査等の開催

（1）評議員会

①第１回評議員会（令和６年６月24日、盛岡グランドホテル 地下１階 祥雲）

ア．書面による評議員会決議について報告された。

イ．理事の辞任、就任について報告された。

ウ．評議員の辞任、就任について報告された。

エ．次期評議員の選任について報告された。

オ．令和５年度事業報告について原案どおり承認された。

カ．令和５年度収支決算報告並びに監査報告について原案どおり承認された。

キ．任期満了に伴う次期理事及び監事の選任について承認された。

※決議に必要な出席評議員数８人、出席12人、欠席２人、監事出席１人、理事出席３人

（2）理事会

①第１回書面による理事会（令和６年４月16日）

ア．評議員候補者の推薦について決議された。

イ．令和６年度定時評議員会の開催について決議された。

②第１回理事会（令和６年６月３日、ホテルメトロポリタン盛岡 本館４階 姫神）

ア．評議員の辞任、就任について報告された。

イ．書面による理事会決議について報告された。

ウ．書面による評議員選定委員会決議について報告された。

エ．理事の職務執行状況について報告された。

オ．令和５年度事業報告について原案どおり決議された。

カ．令和５年度収支決算報告並びに監査報告について原案どおり決議された。

キ．令和６年度定時評議員会の追加議案について原案どおり決議された。

※決議に必要な出席理事の数６人、出席７人、欠席４人、監事出席３人

③第２回理事会（令和６年６月24日、盛岡グランドホテル 地下１階 祥雲）

ア．会長・専務理事・常務理事の選定について決議された。

※決議に必要な出席理事の数６人、出席７人、欠席３人、監事出席３人

④第２回書面による理事会（令和６年７月24日）

ア．評議員候補者の推薦について決議された。

⑤第３回理事会（令和７年３月21日、アートホテル盛岡２階 末廣の間）

ア．評議員の退任、就任について報告された。

イ．書面による理事会決議について報告された。

ウ．書面による評議員選定委員会決議について報告された。

エ．令和６年度上半期理事の職務執行状況について報告された。

オ．令和６年度上半期監査について報告された。

カ．令和７年度事業計画について原案どおり決議された。

キ．令和７年度収支予算について原案どおり決議された。

※決議に必要な出席理事の数６人、出席６人、欠席４人、監事出席３人

（3）定期監査

①第１回定期監査（令和６年５月28日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）

ア．令和５年度事業報告について適正と認められた。

イ．令和５年度決算報告について適正と認められた。

ウ．理事の職務執行状況について報告された。

※監事出席３人、理事出席２人

②第２回定期監査（令和６年11月29日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）

ア．令和６年度上半期事業報告について適正と認められた。

イ．令和６年度上半期収支状況について適正と認められた。

ウ．理事の職務執行状況について報告された。

※監事出席３人、理事出席２人

(4) 評議員選定委員会

①第１回書面による評議員選定委員会（令和６年５月１日）

ア．評議員の選定について決議された。

②第２回書面による評議員選定委員会（令和６年５月13日）

ア．任期満了に伴う次期評議員の選定について決議された。

③第３回書面による評議員選定委員会（令和６年８月26日）

ア．評議員の選定について決議された。

２．規程等の制定・改定について

(1) 規程等の制定

①クラウドサービス選定ガイドライン

②外部接続ガイドライン

(2) 規程等の改定

①振替休日の運用に関する取り決め

②安全運転推進委員会規程

③こころの健康づくり対策委員会規程

④判定等に関する検討委員会規程

⑤広報企画委員会規程

⑥医療安全委員会規程

⑦健康フェスタ実行委員会規程

⑧学術委員会規程

⑨酒気帯び検査の実施要領

⑩個人情報の取扱いについて

⑪診療所における個人情報の取扱いについて

⑫幼老統合施設における個人情報の取扱いについて

⑬個人情報保護基本規程

⑭組織規程

⑮ソーシャルメディアガイドライン

⑯情報システム管理規程

⑰情報システム運用継続計画（別紙１）システム一覧

３．職員研修

(1) 内部研修会の実施

①令和６年度新入職員事前研修会	33人
②新入職員フォロー研修	31人
③リーダーシップ研修	57人
④コミュニケーション研修	34人
⑤先輩職員研修（令和４年11月、令和５年度採用職員対象）	26人
⑥人事考課研修（評価者）	86人
⑦人事考課研修（被評価者）※録画視聴	300人
合　　計	567人参加

４．各種表彰の受賞

(1) 公益財団法人予防医学事業中央会関係

①奨励賞　健康推進部看護課看護係長　萩生田　香　織

医療技術部生理機能検査課循環器検査係長　佐々木　歩　美

②第46回予防医学事業中央会学術賞（児玉賞）

受賞演題「心房細動新規発症と心電図所見についての検討」

医療技術部生理機能検査課看護師　引　木　珠　美　他

(2) 公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係

①功績賞　健康推進部長　佐々木　寛　子

②奨励賞　医療技術部放射線課呼吸器系検査係長　菅　原　連太郎

巡回事業部環境保健課長補佐　小笠原　雄　太

(3) その他

①盛岡地区安全運転管理者部会優良副安全運転管理者表彰

情報管理部次長　小　山　正　範

②盛岡地区安全運転管理者部会優良安全運転者表彰

健康推進部健康支援課健康支援係長　大久保　伸　子

協会概要

組織概要

組織図

職員構成

役員・学術委員名簿

施設概要

機器整備

精度管理実施状況

許可、認可等

全国組織とのかかわり

付属診療所

協会概要

1．組織概要

■名　称　　公益財団法人岩手県予防医学協会

■所在地

Big Waffle（ビッグワッフル） 精密検査外来施設　ふわり	〒020-8585　岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号 TEL：019-638-7185（代）　FAX：019-637-1278
県南センター	〒029-4503　岩手県胆沢郡金ケ崎町西根前野209番地1 TEL：0197-44-5711（代）　FAX：0197-44-4853
幼老統合施設 Cocoa	〒020-0857　岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番45号 TEL：019-614-0800（保育）　019-614-0820（児童クラブ・デイサービス） FAX：019-614-0801（保育）　019-614-0831（児童クラブ・デイサービス）

■設　立　　1970（昭和45）年10月1日

■沿　革

1970（昭和45）年	任意団体岩手県予防医学協会として発足（職員4名）、寄生虫卵検査を中心に業務を開始 岩手県知事より財団法人として許可を受ける
1971（昭和46）年	（財）日本寄生虫予防協会および（財）予防医学事業中央会岩手県支部となる 農村巡回検診（貧血検査）を開始 県内初の検診車によるセット式循環器系検診を開始
1972（昭和47）年	旧済生会病院（盛岡市清水町）に移転 （社）全国労働衛生団体連合会会員となる 循環器系検診車「あおぎり1号」を整備
1973（昭和48）年	岩手県より登録衛生検査所として認可を受ける
1977（昭和52）年	巡回多項目検診、胸部X線検診車による結核検診、一般健康診断検診等を開始
1978（昭和53）年	岩手労働基準局より作業環境測定機関として認可を受ける
1979（昭和54）年	各種学術専門委員会を設置 協会シンボルマークを制定
1980（昭和55）年	施設を都南村（現盛岡市）永井の農村管理センターに移転し、一日人間ドックを開始
1982（昭和57）年	機関紙「健康いわて」創刊
1983（昭和58）年	政府管掌健康保険成人病予防健診の指定機関となる 予防医学事業推進全国大会開催
1986（昭和61）年	健康教育事業を本格的に開始 水沢市（現奥州市）に県南支所を開設 検査・健診統計処理コンピューターシステムを導入 胃部X線検診車による事業所巡回胃部検診を開始
1988（昭和63）年	学童成人病予防健診（現生活習慣病予防健診）を開始 婦人科検診車を譲渡され、婦人科巡回検診を開始
1993（平成5）年	県南支所を金ケ崎町に移転し、名称を県南センターとする
1994（平成6）年	骨粗鬆症予防検診を本格的に開始
1994（平成8）年	世界で初めてＣＲシステムを搭載した胸部X線検診車を整備
1997（平成9）年	（財）結核予防会岩手支部と統合 フリーダイヤル「けんしん何でも相談」を開設
1998（平成10）年	乳がん検診にマンモグラフィを導入
1999（平成11）年	ホームページ開設
2001（平成13）年	労災保険二次健康診断等給付が開始し、健診実施機関として健診を開始
2004（平成16）年	人間ドックセンターを開設し、シニアドック・レディースドックを開始
2005（平成17）年	歯周病検診を全国に先駆けて開始 個人情報保護法の制定をうけ、個人情報保護方針を定める 会員制ヘルスサポートシステム「健康げんき倶楽部・気楽良（きらら）を開設
2006（平成18）年	基本理念・基本方針等を制定
2007（平成19）年	人事理念を制定
2008（平成20）年	特定健康診査・特定保健指導開始
2010（平成22）年	メンタルヘルス事業を開始 県南センター人間ドック/健診フロアをリニューアル
2011（平成23）年	東日本大震災（3.11）により検診車が被災 被災地の健康支援事業を開始
2012（平成24）年	公益財団法人として認定を受ける プライバシーマークの付与認定を受ける
2013（平成25）年	盛岡市北飯岡に新施設「Big Waffle」を建築し、移転
2014（平成26）年	「Big Waffle」において新しい人間ドック、精密検査外来を開始 ヘルシーレストラン「食楽良（くらら）」オープン
2015（平成27）年	盛岡市北飯岡の敷地内に幼老統合施設「Cocoa」を建築し、幼老統合事業を開始
2018（平成30）年	盛岡市北飯岡の敷地内に精密検査外来施設「ふわり」を開設
2020（令和2）年	創立50周年を迎える 県南センターで精密検査外来（呼吸器内科）を開始
2021（令和3）年	県内初の肺がんCT検診施設認定を受ける

2．組織図

令和７年４月現在

- 評議員会
- 学術委員会
- 理事会
  - 監事会
- 会長
- 専務理事
  - 医局
- 常務理事
- 事務局
  - 総務部
    - 総務課
      - 総務係
      - 人事係
    - 経理課
      - 会計係
      - 資材係
  - 事業本部
    - 事業推進部
      - IT・デジタル推進室
        - IT・デジタル推進係
      - 広報室
        - 広報係
      - 健診企画室
        - 健診調整・車両管理係
    - 巡回事業部
      - 地域・学校健診課
        - 地域・学校健診企画渉外係
        - 地域・学校健診巡回係
      - 産業健診課
        - 産業健診企画渉外係
        - 産業健診巡回係
      - 環境保健課
        - 環境調査係
        - 特殊検査係
    - 施設健診事業部
      - 施設健診課
        - 施設健診企画渉外係
        - 施設健診係
    - 情報管理部
      - 情報管理課
        - 情報管理係
        - 情報処理係
        - システム管理係
    - 健康推進部
      - 健康支援課
        - 健康支援係
      - 看護課
        - 看護係
    - 医療技術部
      - 臨床検査課
        - 血液・生化学検査係
        - 一般・細胞診検査係
      - 生理機能検査課
        - 循環器検査係
        - 超音波検査係
      - 放射線課
        - 呼吸器系検査係
        - 消化器系検査係
        - 乳房検査係
    - 県南センター
      - 健診課
        - 総務係
        - 健診係
        - 看護係
        - 検査係
        - 放射線係
  - 幼老統合事業部
    - 保育係
    - 児童係
    - 介護係
- 付属診療所
- 付属第一診療所
- 県南センター付属診療所

令和７年７月現在

３．職員構成

(1) 職員数

459 人（男 208・女 251）

■ Big Waffle

	区　　分	人数
	専務理事 (兼) 呼吸器内科部長	1
	常務理事 (兼) 事務局長	1
医　　局	医局長 1、診療科部長・科長・医師 23	24
事　務　局	事務局長	
	スーパーバイザー	1
	エグゼクティブアドバイザー	5
総　務　部	部長、次長	2
	総務課	9
	経理課	6
事 業 本 部	本部長	1
事 業 推 進 部	次長	1
	ＩＴ・デジタル推進室	2
	広報室	2
	健診企画室	4
巡 回 事 業 部	次長	1
	地域・学校健診課	24
	産業健診課	42
	環境保健課	11
施設健診事業部	次長	1
	施設健診課	24
情 報 管 理 部	部長、次長	2
	情報管理課	42
健 康 推 進 部	部長、次長	2
	健康支援課	27
	看護課	45
医 療 技 術 部	部長、エグゼクティブアドバイザー	2
	臨床検査課	22
	生理機能検査課	52
	放射線課	28
幼老統合事業部	保育係・児童係・介護係	21
小　　計	405 （男 183・女 222）	405

■県南センター

	区　　分	人数
	センター長（兼）診療所長	1
医　　局	診療所長、診療科部長・医師	4
	センター事務長	1
	健診課	48
小　　計	54 （男 25・女 29）	54

(2) 有資格者

のべ 588 人

区　分	人数
医　師	30
保健師	35
看護師	99
管理栄養士	14
臨床検査技師	70
衛生検査技師	1
診療放射線技師	37
労働衛生コンサルタント（衛生工学）	1
第１種作業環境測定士	8
第２種作業環境測定士	1
第１種衛生管理者	58
薬剤師	1
保育士	17
介護福祉士	2
公認心理師	1
臨床心理士	1
生活相談員	7
准看護師	8
細胞検査士	6
超音波検査士	15
JHRS 認定心電図専門士	4
胃がん検診専門技師	7
マンモグラフィ撮影認定技師	9
肺がんＣＴ検診認定技師	2
健康運動指導士	3
選別聴力検査	151

4．役員・学術委員名簿

令和７年７月現在　氏名かな順

〈評議員〉

臼　田　昌　広	岩手県立中央病院長
鎌　田　英　樹	株式会社アイビーシー岩手放送代表取締役会長
佐々木　　　孝	公益財団法人岩手労働基準協会専務理事
菅　原　和　宏	株式会社岩手銀行取締役常務執行役員
菅　生　　　理	岩手県厚生農業協同組合連合会常務理事
鈴　木　　　優	岩手県保健福祉部医療政策室長
大　黒　英　貴	一般社団法人岩手県歯科医師会長
舘　澤　敏　子	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会長
千　田　真　広	岩手県環境保健研究センター副所長
千　葉　智　貴	岩手県保健福祉部健康国保課総括課長
中　村　和　平	岩手県教育委員会事務局保健体育課首席指導主事兼総括課長
畑　澤　博　巳	一般社団法人岩手県薬剤師会長
望　月　　　泉	八幡平市病院事業管理者

〈役　員〉

名誉会長

小　原　紀　彰　　公益財団法人岩手県予防医学協会前会長

会　長（代表理事）

本　間　　　博　　一般社団法人岩手県医師会長

専務理事（業務執行理事）

武　内　健　一　　公益財団法人岩手県予防医学協会呼吸器内科部長

常務理事（業務執行理事）

鈴　木　和　彦　　公益財団法人岩手県予防医学協会事務局長

理　事

石　垣　　　泰	岩手医科大学内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授
伊　藤　清　孝	岩手県農業協同組合中央会代表理事会長
菅　原　和　彦	株式会社岩手日報社常勤監査役
丹　野　高　三	岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座教授
野　原　　　勝	岩手県企画理事兼保健福祉部長
吉　岡　邦　浩	岩手医科大学放射線医学講座教授
吉　田　耕太郎	一般社団法人岩手県医師会常任理事

監　事

丹　代　一　志	昆税理士法人代表社員所長
長　野　隆　行	一般社団法人岩手県医師会監事

〈学術専門・対策委員会〉

1. 呼吸器系検診専門委員会

宇 部 健 治	岩手県立中央病院呼吸器センター長・呼吸器内科長
勝 又 宇一郎	岩手県立胆沢病院医療局理事
川 田 一 郎	岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器内科分野教授
小 西 一 樹	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院理事長
武 内 健 一	公益財団法人岩手県予防医学協会専務理事・呼吸器内科部長
田 村 太 志	医療法人アンビシャス坂の上野田村太志クリニック院長
似 内 郊 雄	医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長
毛 利 孝	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院内科長
守 義 明	盛岡市立病院副院長・呼吸器内科長
山 内 広 平	医療法人社団松誠会滝沢中央病院長

■胸部読影専門部会

青 山 洋 二	医療法人ゆいの杜ゆい内科呼吸器科クリニック院長
石 川 一 郎	岩手県立中央病院放射線診断科
石 川 浩	いしかわ内科クリニック院長
伊 藤 晴 方	医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・医局長・薬剤科長・呼吸器内科部長・アレルギー科部長
宇 部 健 治	岩手県立中央病院呼吸器センター長・呼吸器内科長
及 川 茂 夫	岩手県立中央病院医療情報管理部長・医療情報管理室長・放射線診断科長・放射線治療科長
大 浦 裕 之	岩手県立中央病院副院長
久保田 公 宜	医療法人千藤了会久保田医院理事長
小 西 一 樹	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院理事長
小 林 研	(元) 岩手県立一戸病院副院長・感染管理室長・内科長・在宅医療科長
小 林 仁	医療法人杉の子会マリオス小林内科クリニック理事長
才 川 博 敬	医療法人社団愛和会公園通りクリニック院長
佐々木 直	盛岡市立病院内科長
佐々木 達 哉	医療法人友愛会盛岡友愛病院理事長
千 葉 裕 子	岩手県立中央病院放射線診断科
露 木 秋 穂	医療法人社団恵仁会三愛病院附属矢巾クリニック
中 舘 俊 英	(元) 盛岡市立病院
似 内 郊 雄	医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長
半 田 政 志	岩手県立胆沢病院参与
樋 口 清 一	医療法人泰悠会大浦内科・歯科クリニック
藤 井 祐 次	医療法人友愛会盛岡友愛病院呼吸器外科部長・緩和ケア外科部長
水 野 恵 子	岩手県立中央病院放射線診断科
守 義 明	盛岡市立病院副院長・呼吸器内科長
山 内 広 平	医療法人社団松誠会滝沢中央病院長

2. 消化器系検診専門委員会

池　田　富　好	（元）医療法人誠心会真山池田医院長
池　端　　　敦	岩手県立中央病院医療研修部長
石　川　洋　子	医療法人共生会松園第二病院
小豆嶋　正　和	医療法人慶友会小豆嶋胃腸科内科クリニック理事長
中　塚　明　彦	なかつか消化器内科クリニック院長（胃部読影専門部会長）
松　本　主　之	岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野教授

委員会顧問

狩　野　　　敦	公益財団法人岩手県対がん協会医療顧問
工　藤　俊　雄	医療法人遠山病院
鈴　木　恒　男	（元）大通胃腸科内科院長

■胃部読影専門部会

赤　坂　威一郎	岩手県立中央病院救急医療部長・救急センター長・内視鏡科長
池　田　富　好	（元）医療法人誠心会真山池田医院長
江　村　洋　弘	医療法人江村胃腸科内科医院長
大　屋　敬一郎	大屋内科胃腸科クリニック院長
岡　田　健　男	医療法人健育会岡田消化器科内科医院長
小　野　　　満	岩手県立中央病院附属紫波地域診療センター
小野寺　美　緒	胃腸クリニック院長
萱　場　尚　一	岩手県立胆沢病院副院長・診療情報管理室長・第１消化器内科長
工　藤　俊　雄	医療法人遠山病院
小　坂　陽　一	医療法人七星会小坂内科消化器科クリニック顧問
佐　藤　　　治	医療法人さとう胃腸科内科院長
小豆嶋　立　頼	医療法人慶友会小豆嶋胃腸科内科クリニック院長
鈴　木　恒　男	（元）大通胃腸科内科院長
鈴　木　　　昇	（元）緑ヶ丘消化器科内科医院長
栃　内　秀　貴	栃内内科医院長
長　澤　　　茂	医療法人三秋会一関中央クリニック名誉院長
中　塚　明　彦	なかつか消化器内科クリニック院長
中　村　義　明	中村内科医院長
本　田　健　一	医療法人本田胃腸科内科院長
八　木　千　栄	医療法人葵会もりおか往診ホームケアクリニック
山　岡　　　豊	公益社団法人花巻共立会総合花巻病院
吉　田　俊　巳	医療法人緑明会吉田消化器科内科院長

3. 生活習慣病健診等専門委員会

旭　　　浩　一	岩手医科大学医学部内科学講座腎・高血圧内科分野教授

石　垣　　　泰　　岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授
大和田　真　玄　　岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野准教授（循環器検査専門部会長）
川　村　　　実　　特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院副院長
關　　　博　文　　特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院長（脳ドック専門部会長）
髙　橋　俊　明　　医療法人たかはし眼科院長（眼底検査専門部会長）
滝　川　康　裕　　西松園内科クリニック副院長

■循環器検査専門部会

市　川　　　隆　　医療法人社団帰厚堂南昌病院第１循環器内科部長
大和田　真　玄　　岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野准教授
小　松　　　隆　　公益財団法人岩手県予防医学協会心臓内科部長
田　巻　健　治　　公益財団法人岩手県予防医学協会医局長・循環器科部長
千　葉　直　樹　　医療法人歴程ちばクリニック院長
那　須　雅　孝　　医療法人社団恵仁会三愛病院副院長
野　崎　英　二　　公益財団法人岩手県予防医学協会総合診療科部長
八　木　卓　也　　岩手県立胆沢病院副院長・医師事務支援室長・第１循環器内科長・救急医療科長

■眼底検査専門部会

朝　倉　章　子　　医療法人社団新津あさくら眼科クリニック院長
岩　見　千　丈　　北上済生会病院眼科科長
小田島　祥　司　　（元）小田島眼科院長
白　井　淳　一　　医療法人社団白井眼科クリニック院長
髙　橋　俊　明　　医療法人たかはし眼科院長
玉　田　康　房　　玉田眼科理事長
渡　邉　敏　明　　わたなべ眼科医院長

■脳ドック専門部会

及　川　博　文　　岩手医科大学医学部放射線医学講座特任講師
大　澤　成　之　　大澤クリニック副院長
大　澤　宏　之　　大澤クリニック院長
菊　池　貴　彦　　岩手県立中央病院統括副院長・診療部長・脳神経センター長・脳神経内科長
菅　原　孝　行　　公益財団法人岩手県予防医学協会脳神経外科部長
鈴　木　智　大　　岩手医科大学医学部放射線医学講座講師
關　　　博　文　　特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院長
原　　　一　志　　盛岡市立病院脳神経外科長
米　澤　久　司　　盛岡赤十字病院脳神経内科

4. 女性健診専門委員会

※編成中

■乳がん検診専門部会

石　田　和　茂　　岩手医科大学医学部外科学講座講師
石　田　茂登男　　乳腺外科いしだ外科胃腸科クリニック院長
宇佐美　　　伸　　岩手県立中央病院乳腺・内分泌外科長
大　貫　幸　二　　宮城県立がんセンター　乳腺外科診療科長
齊　藤　純　一　　ブレスト齊藤外科クリニック院長
須　原　　　誠　　岩手県立中央病院救急医療部長
多　田　隆　士　　公益財団法人岩手県予防医学協会乳腺外科部長

■婦人科検診専門部会

※編成中

5. 小児および学校保健専門委員会

赤　坂　真奈美　　岩手医科大学医学部小児科学講座教授
金　濱　誠　己　　一般社団法人岩手県医師会常任理事
中　村　和　平　　岩手県教育委員会事務局保健体育課主席指導主事兼総括課長
那　須　雅　孝　　医療法人社団恵仁会三愛病院副院長
前　多　治　雄　　前多小児科クリニック院長（小児生活習慣病健診等専門部会長）
三　上　承　子　　岩手県学校保健会養護教諭部会長
三　上　　　仁　　岩手県立中央病院業務企画部長
山　崎　　　健　　医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長（脊柱側弯検診専門部会長）

■学校心臓検診専門部会

遠　藤　秀　晃　　岩手県立中央病院医療安全管理部次長・副循環器センター長兼循環器内科長
小　山　耕太郎　　社会福祉法人新生会みちのく療育園メディカルセンター長
熊　谷　亜希子　　岩手医科大学医学部臨床検査医学・感染症学講座講師　内科学講座循環器内科分野
小　泉　淳　一　　岩手医科大学医学部心臓血管外科学講座准教授
齋　木　宏　文　　岩手医科大学医学部小児科学講座准教授
齋　藤　明　宏　　さいとう小児科クリニック院長
佐　藤　陽　子　　医療法人ハレルヤ会森田小児科医院
高　橋　　　信　　独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター循環器内科医長
滝　沢　友里恵　　岩手医科大学小児科学講座助教
那　須　雅　孝　　医療法人社団恵仁会三愛病院副院長
藤　井　　　裕　　一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院副院長

■脊柱側弯検診専門部会

大　山　素　彦　　独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター診療部長
加　藤　貞　文　　かとう整形外科クリニック院長
土井田　　　稔　　岩手医科大学医学部整形外科学講座主任教授
長　澤　敏　明　　医療法人社団仁愛会理事長
双　木　　　慎　　医療法人なみき双木整形外科医院長

村　上　秀　樹　　医療法人巖桜会栃内病院
山　崎　　　健　　医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長
山　部　大　輔　　岩手医科大学医学部整形外科学講座助教
吉　田　知　史　　よしだ整形外科クリニック院長

■小児生活習慣病健診等専門部会

石　垣　　　泰　　岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授
石　川　　　健　　岩手医科大学医学部小児科学講座特任教授
遠　藤　幹　也　　岩手医科大学医学部小児科学講座
高　橋　明　雄　　子どもは未来もりおかこどもクリニック副院長
前　多　治　雄　　前多小児科クリニック院長
三　上　　　仁　　岩手県立中央病院業務企画部長

6. ウイルス肝炎専門委員会

阿　部　弘　一　　あべ菜園内科クリニック院長
石　川　和　克　　医療法人友愛会盛岡友愛病院
佐々木　美　香　　独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター副院長
杉　江　琢　美　　岩手県保健所長会副会長（宮古保健所長）
鈴　木　　　優　　岩手県保健福祉部医療政策室長
滝　川　佐波子　　一般社団法人岩手県医師会常任理事
滝　川　康　裕　　西松園内科クリニック副院長
宮　坂　昭　生　　岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野准教授

5．施設概要

■ Big Waffle

着　　工	2012（平成 24）年 12 月	
竣　　工	2013（平成 25）年 11 月	
敷地面積	19,586.84 m^2	
延床面積	7,912.60 m^2	
フ ロ ア	1 階	総務部事務室、役員室、医局、会議室、検査室、健診準備室、待合ホール、健康げんき倶楽部“気楽良”、ヘルシーレストラン“食楽良”
	2 階	総合受付、健康診断・人間ドック・レディースフロア、食堂
	3 階	事業推進部・巡回事業部・施設健診事業部・情報管理部・健康推進部・医療技術部事務室、医局、読影室、画像処理室、サーバー室、会議室、休憩室、休養室、出力作業室、倉庫

■県南センター

着　　工	1992（平成 4）年 7 月	
竣　　工	1993（平成 5）年 10 月	
敷地面積	13,443.22 m^2	
延床面積	4,015 m^2	
フ ロ ア	1 階	事務室、医局、検査室、多目的ホール、会議室 電算室、岩手県厚生農業協同組合連合会事務室
	2 階	健康診断・一日人間ドックフロア、食堂

■ふわり

着　　工	2017（平成 29）年 4 月	
竣　　工	2018（平成 30）年 3 月	
延床面積	1,759.54 m^2	
フ ロ ア	1 階	臨床検査課・環境保健課事務室、学童保育エリア（運動室、学習室）、男・女休憩室、倉庫
	2 階	待合ホール、精密検査外来フロア
	3 階	メンタルヘルスロビー、面接室

■幼老統合施設 Cocoa

着　　工	2014（平成 26）年 8 月	
竣　　工	2015（平成 27）年 2 月	
敷地面積	3,659.41 m^2	
延床面積	970.53 m^2	
フ ロ ア	1 階	職員室、休憩室、厨房、医務室 保育エリア（遊戯室、0～5 歳児の年齢別各部屋、調乳室、沐浴室） デイサービスエリア（相談室、食堂兼機能訓練室、浴室、洗濯室、静養室） 学童保育エリア（ホール、学習室）

6．機器整備

■検診車

令和７年８月現在

区　分	あおぎり	取得年月	補　助　等	所属管理
循環器系検診車	1 号	平成 19. 2	岩手中部広域市町村圏事務組合	Big Waffle
	3 号	令和 4. 3	−	
	6 号	平成 16. 11	−	
	9 号	令和 6. 9	−	
	10 号	平成 23. 4	−	
	12 号	〃 28. 3	−	
	13 号	〃 29. 3	−	
	14 号	令和 4. 3	−	
	16 号	平成 9. 10	−	
	17 号	〃 10. 8	岩手県	
	18 号	〃 12. 9	宝くじ	
	19 号	令和 5. 2	−	
	2 号	令和 4. 1	−	県南センター
	4 号	平成 12. 2	−	
	5 号	〃 26. 8	−	
	8 号	〃 31. 1	−	
	15 号	〃 5. 7	−	
胸部Ｘ線検診車	22 号	令和 5. 9	−	
	24 号	令和 5. 10	−	
	25 号	平成 25. 5	−	
	28 号	〃 31. 3	−	
	29 号	〃 27. 3	−	
	30 号	〃 23. 3	−	
	32 号	令和 2. 1	−	
	33 号	平成 29. 2	−	
	34 号	令和 2. 2	−	
	35 号	平成 24. 3	−	
	40 号	〃 18. 9	宝くじ	
	41 号	〃 19. 12	日本財団	
	71 号	〃 15. 12	岩手中部広域市町村圏事務組合	
	72 号	〃 28. 3	−	
	75 号	〃 25. 3	JA 共済連	
	21 号	平成 31. 1	−	県南センター
	23 号	〃 23. 3	−	
	26 号	〃 31. 3	−	
	27 号	令和 2. 1	−	
	76 号	平成 30. 3	−	
胃部Ｘ線検診車	80 号	令和 4. 12	JKA	Big Waffle
	81 号	平成 22. 3	−	
	82 号	〃 29. 9	−	
	84 号	〃 28. 2	JKA	
	85 号	〃 29. 12	宝くじ	
	47 号	平成 17. 11	日本自転車振興会	県南センター
	83 号	〃 25. 2	JKA	
	86 号	令和 1. 8	−	
	87 号	〃 1. 8	−	
婦人科検診車	50 号	令和 2. 9	−	Big Waffle
	51 号	平成 14. 3	−	県南センター
超音波検診車	7 号	〃 24. 5	−	Big Waffle
	57 号	〃 8. 5	滋賀研究保健センターより譲渡	
乳房検診車	60 号	令和 5. 1	−	Big Waffle
	62 号	令和 2. 9	−	

■施設装置・検診車装置

機　器　名	メーカー・機種	台数
胸部 X 線装置	島津　UD-150 L-40E	4
	キヤノン　MXO-15B	1
	富士　DHM-152TH　他	2
	富士　RADNEXT CS 他	19
	大林　TRB9020H	1
胃部 X 線装置	富士　EXAVISTA	3
	富士　DHF-153VMS TU-MA5Plus	1
	富士　DHF-153VH Ⅱ TU-M600	1
	キヤノン　SREX-D32C	2
	富士　ESPACIO AVANT	5
	富士　DIAVISTA Luce	6
	キヤノン　Raffine-i	3
乳房 X 線装置	富士　Amulet Innovality	3
	メディソンアコマ　Pinkview-AT	3
CT 装置	シーメンス　SOMATOM Emotion6	1
	キヤノン　Aquilion Lightning/Helios Edition	2
	富士　SCENARIA	1
MRI 装置	キヤノン　VantageTitan 1.5T	1
	富士　ECHELON Smart 1.5T	1
成人用心電計	フクダ電子　FCP8300　他	61
学童用心電計	フクダ電子　ECP8641　他	10
血圧脈波検査装置	フクダ　VS-2500TN　他	7
スパイロメーター	チェスト　HI-801	16
	フクダ電子　SP-470	3
超音波診断装置	富士フィルムヘルスケア　ARIETTA65 LE　他	8
	キヤノン　Aplio a450　他	23
	GE　Vivid E90　他	6
	フィリップス IE33	1
超音波骨評価装置	富士フィルムヘルスケア　AOS-100SA 他	12
眼底カメラ	キヤノン　CR-2 PLUS AF 他	25
	トプコン　TRC-NW400	25
眼圧計	キヤノン　TX-20P 他	7
視野スクリーニング検査機器	ZEISS　ハンフリー FDT スクリーナー	1
血液学検査装置	シスメックス　XN9000	1
液状処理細胞診前処理装置	日本 BD　トータス　D-Cube	1
液状処理細胞診塗抹装置	日本 BD　トータススライドプレップ	1
生化学自動分析装置	日立　LABOSPECT 008	3
	日本電子　BioMajesty JCA-BM9130	2
全自動免疫測定装置	シスメックス　HISCL-5000R	1
免疫測定発光装置	富士レビオ　ルミパルス　L2400	1
便潜血自動分析装置	栄研化学　OC センサー PLEDIA	2
全自動尿沈渣分析装置	シスメックス　UF5000	1
全自動尿分析装置	栄研化学　US3500	4
顕微鏡	オリンパス　BX-43F 他	13
	ニコン　エクリプス 80i 他	3
内視鏡システム	オリンパス　EVIS LUCERA ELITE 他	5
経膣用超音波診断装置	シーメンス　ソノビスタ FX 他	5
脊柱側弯症検診装置	エーアンドエーシステム　ABS-1000S 他	3
高速液体クロマトグラフ	Agilent 1260 Infinity LC システム	1
	島津　Prominence-i	1
ガスクロマトグラフ	島津　GC-2014　他	4
粉じん計	柴田科学　LD-5R　他	8
	日本カノマックス　MODEL3422	2
振動感覚計	リオン AU- O 2B	2
情報機器視力計	トーメー　NS-050 他	12
情報機器近点計	ニデック　VNP-200	2
	東和　NS-100	2
オートレフラクトメーター	トーメー　RC-5000	1
	ニデック　AR-330A	1
X 線回析装置	BRUKER D2 PHASER 2nd Generation	1

7. 精度管理実施状況

■内部精度管理

検査データの正確性・精密性の維持向上を目的とし日々実施している。検体の取り違え、検体運搬・保存方法など検査前の管理から、サンプリング方法・分析機器の管理コントロールを用いての日差・日内変動などをチェックし、検査結果の評価を行っている。

■外部精度管理

コントロールサーベイやクロスチェックにより、他施設との比較を行い自施設の検査精度・検査データの正確度を評価している。客観的な正確度の評価を行い、精度・技術の向上に繋げており、当協会は常に高い評価を得ている。

主に下記団体主催の精度管理調査に参加している。

日本医師会	日本総合健診医学会
岩手県医師会	予防医学事業中央会
日本臨床衛生検査技師会	全国労働衛生団体連合会
岩手県臨床衛生検査技師会	日本作業環境測定協会
日本診療放射線技師会	結核予防会

8. 許可・認可等

作業環境測定機関 第3-2号
特定健康診査機関・特定保健指導機関
全国健康保険協会管掌健康保険健診実施機関
労災保険二次健康診断・特定保健指導指定機関
労働衛生サービス機能評価認定 第81号認定機関
日本総合健診医学会優良総合健診施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診 施設・画像認定施設
日本臨床細胞学会認定施設
国立長寿医療研究センターコグニサイズ促進協力施設
プライバシーマーク付与認定第14200087号
肺がんCT検診認定機構肺がんCT検診認定施設
日本消化器がん検診学会大腸CT検査技術認定施設
日本脳ドック学会認定施設
日本乳癌検診学会登録認証施設

9. 全国組織とのかかわり

公益財団法人予防医学事業中央会（岩手県支部）
公益財団法人結核予防会（岩手県支部）
公益社団法人全国労働衛生団体連合会会員
公益社団法人日本作業環境測定協会会員
公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会会員
一般社団法人日本総合健診医学会会員

10. 付属第一診療所

保険医療機関
労災保険指定医療機関
結核指定医療機関
生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関

事業年報　第 54 号（令和 6 年度報告）
2025 年（令和 7 年）12 月発行

発行者　本間　博

編　集　事業推進部　広報室

山口北州印刷株式会社

発行所　公益財団法人岩手県予防医学協会
〒 020-8585　岩手県盛岡市北飯岡四丁目 8 番 50 号
電話 019-638-7185
HP　www.aogiri.org